
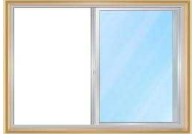


# 院内感染対策 新型コロナウイルス感染症患者 入院受入れ時の換気の工夫

病室内のウイルス量を希釈するため、県内外の医療機関で実際に行っている換気の工夫点をご紹介します。  
各施設の状況に応じてご活用ください。



- 病室内のウイルス量を日頃から出来るだけ少なくするために、常時10cm程度窓を開ける。
- 機械換気設備を24時間稼働させる。換気スイッチが常にONになっているかを確認する。
- 機械換気がない場合は2方向の窓や扉を開けると空気の流れを作り、効果的な換気出来る。
- 病室の窓が1ヶ所の場合は、扇風機やサーキュレーターを窓側近くで外向けに配置し、室内の空気を外に出す流れを作る。
- HEPAフィルター付き空気清浄機等を   利用すると、ウイルス量の軽減が期待出来る。  
(定期的な清掃を心がけましょう。)
- 廊下側の出入口を閉めておくと、院内へのウイルスの流入を軽減することが出来る。スタッフの訪室時はノック(声かけ)し、本人に窓を閉めてマスク着用してもらい、ドアを開けることで急な空気の放出を防ぎ、職員へのウイルス暴露を減らすことが出来る。